



ぶどう特報 #1



2024年3月14日
JA中野市営農センター
JA中野市ぶどう部会

水上がりについては3/11現在生育停滞の為3/15頃(平年並み)と予想。貯蔵養分不足(昨年着房過多等)による結果母枝の枯れ込み・発芽不良・生育の不揃いが心配されます。園地の乾燥したときはかん水を実施してください。樹体観察を適宜行い、休眠期・発芽前の防除を適期に実施してください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	特記
平年	4/25	4/28	過去10年平均値(H26~R5)
2023年(R5)	4/16	4/19	過去10年間の中で最速
2024年(R6)	4/22頃	4/25頃	平年よりは2~3日早くなると予想

【特別散布(共通) ブドウトラカミキリ対策】

散布時期	粗皮はぎ後(発芽前) *4月上旬頃	散布日: ____月 ____日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ ⑧ラビキラー乳剤 500mℓ(発芽前・2回)	散布量: _____ℓ
散布量	300ℓ/10a	
適用病虫害	ブドウトラカミキリ	
注意事項	① 注意: 発芽後の散布は薬害が発生するため散布時期を厳守する。 ② 訪花昆虫保護のため、早朝の散布を厳守する。 ③ 晩腐病対策: ベンレート水和剤200倍(休眠期、1回)を加用する。	

◆ 病虫害対策

① 粗皮はぎ

- ◆ 目的: ブドウトラカミキリ・カイガラムシ類・クビアカスカシバ等の主幹害虫対策
- ◆ 時期: 藁外し終了後(4月上旬頃)
- ◆ 休眠期防除前に粗皮はぎを行い、薬剤が直接かかるようにする。
- ◆ 流れ: 藁外し → 粗皮はぎ → 発芽前防除

② 黒とう病・晩腐病対策

- ◆ 発病痕の除去: 巻きひげや昨年発病痕を棚面から除去
- ◆ 枝管理(芽かき・新梢整理)を徹底し、薬液や空気の通りを良くする
- ◆ 薬剤散布は予防を前提に進める
- ◆ 早期の袋かけの実施

～ 春苗の植え付けのポイントは裏面をお読みください ～

苗木の植え付けについて

◆ 植え付け必要資材

① 堆肥

- ◆ 目的：発根促進、土壌改良、生育促進（土壌団粒化して根を健全に伸ばす）
- ◆ おすすめ資材：エアープイント、エコマッシュ、スーパー響土 等

② 木炭

- ◆ 目的：通気性、透水性・保水性向上、土を柔らかくする
- ◆ おすすめ資材：もみがらくん炭、今年の枝の炭 等

③ リン酸

- ◆ 目的：発根促進
- ◆ おすすめ資材：コーエーユーキリン

④ その他：スコップ、支柱、たっぷりの水（バケツ 2 杯分以上/1 本）

◆ 植え付け方法

① 植え付け時期：4 月中旬以降（地温上昇してから）～ 発芽直後まで

② 苗木は 12 時間以上、根を水につけこんで吸水させる。 * 乾燥による枯死防止

③ 直径 80～100cm、深さ 30～40cm 程度の植え付け穴を掘る。

④ 掘り上げた土にエアープイント等の堆肥(1/2～1/3 袋)、もみがらくん炭(10 kg程度)を混ぜ、半分程度を穴に戻し、穴の中心が盛り上がるようにする。 * 深植え防止

⑤ 苗木の根を切り揃え、ユーキリン(1～2 つかみ分)を根に付着させる。

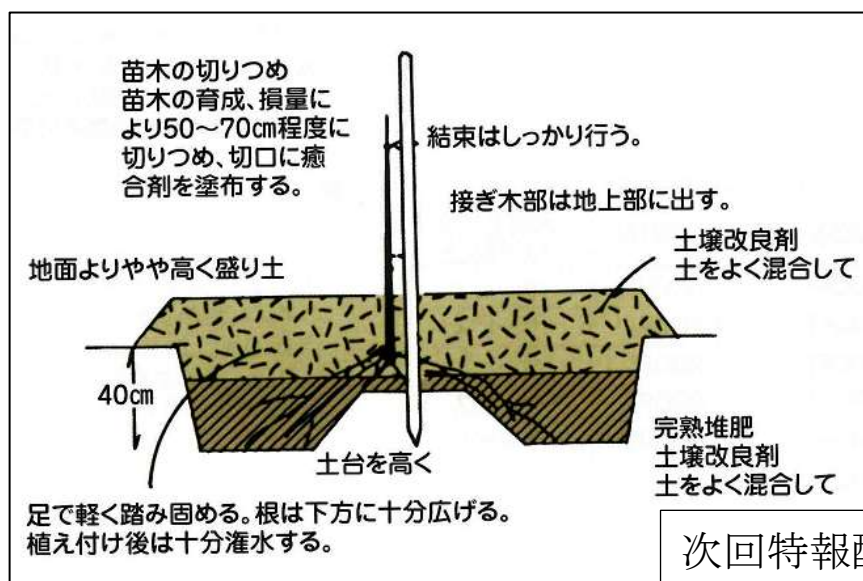
⑥ 穴の中心に苗木を置き、根を放射状に広げて、残りの土を戻す。

⑦ 苗木の芽を 3～4 芽程度に切り詰め、支柱を設置し苗木を誘引する。

⑧ たっぷりとかん水を行い、植え穴が乾燥しないようマルチやワラで地面を覆う。

* エアープイント・もみがらくん炭・ユーキリンは営農資材店にて取り扱っています。

* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。



次回特報配布予定：3月下旬 発芽直前定期散布他